

実施者：NPO法人海の再生ネットワークよろん/池田香菜

連絡先：uminosaiseinetyoron@yahoo.co.jp/080-5075-3457

学習の ねらい	<input type="checkbox"/> 海に親しむ	<input type="checkbox"/> 海を知る	<input type="checkbox"/> 海を守る	<input type="checkbox"/> 海を利用する
	「海辺でビーチコーミング」 与論島の海岸に漂着しているものを拾い、どんな物語を経て海岸にたどりついたのか、考える。私たちの身の回りにあるものが漂着物となることを学び、自然界に与える影響・何が自分たちにできるか考える。			
	<input type="checkbox"/> 情報収集・判断	<input type="checkbox"/> 対話	<input type="checkbox"/> 問題解決	<input type="checkbox"/> 持続的利用
	<input type="checkbox"/> 感動	<input type="checkbox"/> 関係	<input type="checkbox"/> 主体	<input type="checkbox"/> 継続
実施について	対象：小学4年生～	時期：通年	場所：室内・海岸	時間：3コマ（160分くらい）
内容	<p>——海岸へ移動15分——</p> <ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生の挨拶 ●座学①「ビーチコーミングと漂着物」(15分) NPO法人海の再生ネットワークよろん「同じもの探しゲーム」 ●グループ学習①フィールドワーク(30分) ・3グループに分かれ、漂着物を拾い観察(貝殻・サンゴの骨・シーグラス・海ごみなど) ●漂着物の分別(人工物と自然のモノ)(15分) ●グループ学習②ワークシート①(20分) ・グループごとに漂着物のテーマを1つ決めて、もともとどこにあったものか(住んでいたものか)、考えワークシートにまとめる(グループごと) ●結果発表(10分) ・どんな漂着物がどのように与論の海岸へたどり着いたかグループで発表 ●座学②「海ごみが生き物たちに与える影響」(10分) 誇れるふるさとネットワーク ●これから私たちにできること(20分) ・1人1人、これからの生活で出来ることをワークシート②に書く(10分) ・発表タイム(10分) ●海ごみの回収(10分) ●担任の先生の挨拶・まとめ <p>——学校へ移動15分——</p>			
備品	持ち込み：ブルーシート、海ごみ入れる箱(拾い箱) 準備してほしいもの：ワークシート①②の印刷、海ぐつ			
その他	野外活動があるため、帽子と飲み物の準備が必要。事前に体操服に着替えて置く必要あり。 膝下くらいは海に入るかもしれないので、タオルを持たせるといい。 海岸での実施なので、バスの借り上げが必要。			

	実施する海岸については、校区によって変更するので、お申し付けください。
--	-------------------------------------